

平成29年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年5月12日

上場会社名 横浜ゴム株式会社

上場取引所 東名

コード番号 5101 URL <http://www.y-yokohama.com>

代表者 (役職名) 代表取締役会長 (氏名) 南雲 忠信

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経理部長 (氏名) 松尾 剛太

TEL 03-5400-4520

四半期報告書提出予定日 平成29年5月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年12月期第1四半期の連結業績(平成29年1月1日～平成29年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年12月期第1四半期	147,739	14.2	9,068	32.0	8,769	55.8	5,662	56.4
28年12月期第1四半期	129,344	△6.8	6,868	△42.0	5,629	△39.9	3,621	△37.9

(注)包括利益 29年12月期第1四半期 △4,370百万円 (76.9%) 28年12月期第1四半期 △18,903百万円 (△247.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年12月期第1四半期	35.31	—
28年12月期第1四半期	22.58	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年12月期第1四半期	885,701	348,255	38.5
28年12月期	902,990	355,044	38.6

(参考)自己資本 29年12月期第1四半期 340,976百万円 28年12月期 348,750百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年12月期	—	26.00	—	26.00	52.00
29年12月期	—	—	—	—	—
29年12月期(予想)	—	26.00	—	26.00	52.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年12月期の連結業績予想(平成29年1月1日～平成29年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	300,000	11.9	14,000	△10.9	12,000	△3.0	7,500	△8.9	46.78
通期	660,000	10.7	47,500	12.2	43,500	11.2	30,000	59.7	187.10

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年12月期1Q	169,549,081 株	28年12月期	169,549,081 株
② 期末自己株式数	29年12月期1Q	9,209,171 株	28年12月期	9,208,651 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年12月期1Q	160,340,219 株	28年12月期1Q	160,341,777 株

※四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想につきましては、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき当社が作成した見通しであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

【添付資料】

[添付資料の目次]

1. 当四半期決算に関する定性的情報	
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(6) 重要な後発事象	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間(平成29年1月1日～平成29年3月31日)における当社グループをとり巻く環境は、国内では、株価の上昇、雇用所得環境及び企業業績の改善等により景気は緩やかに回復しました。

一方、海外においては、米国では良好な個人消費等による景気回復が持続しています。また、欧州もEU離脱を正式通告した英国に先行き不透明感が残るものの、総じて緩やかに回復しました。加えて、中国では、対米関係にリスクはあるものの、昨年からの経済対策等により景気は底堅く推移しています。

国内のタイヤ業界においては、新車用タイヤ、市販用タイヤ共に前年を上回るなど好調に推移しました。

こうした状況の中、当社グループは、販売力の強化、業務の効率化、コスト削減などに取り組んだ結果、当第1四半期連結累計期間の連結売上高は1,477億39百万円(前年同期比14.2%増)、連結営業利益は90億68百万円(前年同期比32.0%増)、連結経常利益は87億69百万円(前年同期比55.8%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は56億62百万円(前年同期比56.4%増)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

① タイヤ

売上高は1,051億84百万円(前年同期比4.3%増)で、当社の総売上高の71.2%を占めております。

新車用タイヤの販売は堅調で、特に中国においては、小型車両減税により好調に推移しました。

また、市販用タイヤの販売では、国内においては、グローバル・フラッグシップブランド「ADVAN(アドバン)」シリーズや、低燃費タイヤ「BluEarth(ブルーアース)」シリーズなど高付加価値商品を中心に販売を強化し、販売量、売上高ともに前年並みに推移したほか、海外では、北米、欧州を中心に好調に推移しました。

② MB(マルチプル・ビジネスの略)

売上高は259億61百万円(前年同期比4.2%減)で、当社の総売上高の17.6%を占めております。

ホース配管事業は、中国での建機市場の回復等により、売上高は前年同期を上回りました。

工業資材事業では、海外でのコンベヤベルトの販売は好調でしたが、海洋商品が低調で、売上高は前年並みとなりました。

ハマタイト・電材事業は、海外における自動車用接着剤等の販売が好調で、売上高は前年同期を上回りました。

航空部品事業では、民間航空機向けが低調で、売上高は前年同期を下回りました。

③ ATG

売上高は148億97百万円で、当社の総売上高の10.1%を占めております。

農業機械用・産業車両用タイヤを始めとするオフハイウェイタイヤは、穀物価格の下落等による農業用機械の需要低迷が続いており、新車用タイヤの販売は厳しい状況でしたが、市販用タイヤの販売が好調で、販売量、売上高ともに想定どおりに推移しました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期末における総資産は8,857億1百万円となり、前期末に比べ172億88百万円減少しました。これは、主に売上債権が減少したことによるものです。

負債は5,374億46百万円となり、前期末に比べ104億99百万円減少しました。これは、主に仕入債務が減少したことによるものです。

純資産合計は、3,482億55百万円となり、前期末に比べ67億89百万円減少しました。これは、主に株価及び為替相場変動の影響等によりその他の包括利益累計額が減少したことによるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想につきましては、前回公表値(平成29年2月20日公表)を修正しておりません。

(注)上記の業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、実際の業績は予想と異なる可能性があります。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当する事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当する事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当する事項はありません。

(4) 追加情報

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を当第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	60,347	50,994
受取手形及び売掛金	155,789	145,680
電子記録債権	8,447	8,919
商品及び製品	70,671	73,916
仕掛品	7,409	8,550
原材料及び貯蔵品	26,759	31,206
その他	22,849	28,193
貸倒引当金	△1,854	△2,469
流動資産合計	350,421	344,991
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	95,430	95,165
機械装置及び運搬具（純額）	114,610	112,301
その他（純額）	88,866	90,695
有形固定資産合計	298,907	298,163
無形固定資産		
のれん	88,564	84,201
その他	54,996	52,642
無形固定資産合計	143,560	136,843
投資その他の資産		
投資有価証券	92,616	92,781
その他	18,016	13,428
貸倒引当金	△532	△506
投資その他の資産合計	110,100	105,702
固定資産合計	552,568	540,709
資産合計	902,990	885,701
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	65,252	61,744
電子記録債務	7,487	7,555
コマーシャル・ペーパー	—	14,000
短期借入金	61,879	62,451
未払法人税等	4,990	3,449
役員賞与引当金	150	150
その他	61,648	52,460
流動負債合計	201,408	201,811
固定負債		
社債	50,000	50,000
長期借入金	224,504	213,250
退職給付に係る負債	14,001	14,054
その他	58,031	58,330
固定負債合計	346,537	335,634
負債合計	547,945	537,446

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	38,909	38,909
資本剰余金	31,055	31,055
利益剰余金	240,478	242,777
自己株式	△12,113	△12,114
株主資本合計	298,329	300,626
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	40,093	39,994
繰延ヘッジ損益	1,083	651
為替換算調整勘定	15,023	5,298
退職給付に係る調整累計額	△5,779	△5,596
その他の包括利益累計額合計	50,421	40,349
非支配株主持分	6,293	7,279
純資産合計	355,044	348,255
負債純資産合計	902,990	885,701

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年3月31日)
売上高	129,344	147,739
売上原価	83,471	96,028
売上総利益	45,873	51,711
販売費及び一般管理費	39,004	42,643
営業利益	6,868	9,068
営業外収益		
受取利息	50	124
受取配当金	92	92
その他	575	1,187
営業外収益合計	717	1,403
営業外費用		
支払利息	641	936
為替差損	752	213
その他	562	553
営業外費用合計	1,956	1,702
経常利益	5,629	8,769
特別損失		
固定資産除売却損	22	71
特別損失合計	22	71
税金等調整前四半期純利益	5,607	8,697
法人税等	2,031	3,019
四半期純利益	3,575	5,678
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△45	16
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,621	5,662

【四半期連結包括利益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年3月31日)
四半期純利益	3,575	5,678
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△11,926	△99
繰延ヘッジ損益	△1,110	△431
為替換算調整勘定	△9,265	△9,701
退職給付に係る調整額	△176	183
その他の包括利益合計	△22,479	△10,049
四半期包括利益	△18,903	△4,370
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△18,722	△4,409
非支配株主に係る四半期包括利益	△181	39

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当する事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第1四半期連結累計期間(自平成28年1月1日至平成28年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	タイヤ	MB	ATG	計				
売上高								
外部顧客への売上高	100,813	27,111	—	127,925	1,419	129,344	—	129,344
セグメント間の内部売上高 又は振替高	400	13	—	414	3,451	3,865	△ 3,865	—
計	101,214	27,125	—	128,339	4,870	133,210	△ 3,865	129,344
セグメント利益	5,409	1,435	—	6,845	52	6,898	△ 29	6,868

- (注) 1. 「その他」の区分は、スポーツ用品の販売等であります。
 2. セグメント間取引消去によるものです。
 3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
 該当する事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成29年1月1日至平成29年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	タイヤ	MB	ATG	計				
売上高								
外部顧客への売上高	105,184	25,961	14,897	146,043	1,695	147,739	—	147,739
セグメント間の内部売上高 又は振替高	293	22	5	322	4,002	4,324	△ 4,324	—
計	105,478	25,984	14,903	146,366	5,698	152,064	△ 4,324	147,739
セグメント利益	6,947	1,313	637	8,898	196	9,094	△ 26	9,068

- (注) 1. 「その他」の区分は、スポーツ用品の販売等であります。
 2. セグメント間取引消去によるものです。
 3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項
 (セグメント区分の変更)

前第3四半期連結会計期間において、Alliance Tire Groupを連結の範囲に含めたことにより、新たな報告セグメントとして「ATG」を新設しております。この事業区分の新設は、中期経営計画の事業戦略に沿った当社グループの経営管理の実態を適正に表示するためのものであります。これにより、当社の報告セグメントは従来からの当社グループが営む事業を種類別に管理する報告セグメントである「タイヤ」、「MB」に「ATG」を加えた3セグメントで構成されております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
 該当する事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当する事項はありません。

(6) 重要な後発事象

該当する事項はありません。